

## 終了報告書

留学プログラム名	イオンワンパーセントクラブ
所属(本学)	工学部 無機材料工学科 4年
留学先国	中国
留学期間	プログラム実施期間: 2015年8月15日~2015年8月22日 滞在期間: 2015年8月15日~2015年8月22日

### 留学前の準備

留学の情報は過去に参加された先輩から教わった。参加条件にTOEIC730点以上という制約があるので、参加者はみんな英語が流暢だった。英語で議論するのである程度の英会話力が必要となる。普段から留学生と交流して、英語力をつけていた。

### 留学中の活動及び感想

留学中はごみ処理場や埋め立て地を見学し、ごみの問題について学んだ他、イオンのショッピングモールでお客さんにインタビューも行った。これらの経験を踏まえ、グループごとにプレゼンテーションを作成し、最終日には天津政府の方たちに発表した。1グループは10人程度で大学生高校生に分かれていた。大学生は形式的なプレゼンであるのに対し、高校生チームは劇やポスターなどを取り入れた非常にクリエイティブで高レベルなプレゼンを行っていて圧倒された。プレゼンの後には表彰式もあり、1位~3位のチームには天津政府の判子入りの賞状とメダル、景品が与えられた。

過去にも環境問題をアジアの各国の人と議論するプログラムに参加したことはあるが、このプログラムでは、そのプレゼンテーションを直接政府の前で発表でき、非常に貴重な経験となった。中国では食べ物を残す習慣があり、プログラム中も大量のご飯が出され、たくさんの食料を残すこととなった。中国のごみの半分は食料と知り、驚いた。中国にはごみの分別の習慣もなく、インタビューをした時も半数の人は過去にごみの分別をしたことがないと答えており、驚いた。日本人は中国でもごみの分別を試みたが、分別方が分からず、分別できなかった。せっかく分別をしても、それを回収する業者がいないため、結局混合することになるということにも驚きだった。こういった中国の状況を改善するため、現在の問題点を明らかにした後、日本のごみ処理の制度を踏まえ、教育の改善、分別法、新たな社会モデルなどの政策を政府に提言した。自分の声を政府に届けられたのはとても嬉しかった。ディスカッションでは意見をまとめるのに非常に苦労したが、最終的に2位をとることができ、納得のいくプレゼンテーションを作成できた。文化交流では、それぞれ自国の民族衣装を着て踊った。色々な文化を体験できた。

日本人の参加者も慶応、早稲田、一ツ橋などレベルの高い文系の学生が多く、刺激的だった。普段とは違った視野から物事を考えるいい機会になった。

### 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

過去に似たプログラムに参加した時は、英語力が乏しく、自分の意見を反映させることが難しかったが、今回は良いプレゼンテーションを作るため、相手の意見を聞きながら、自分の意見を反映させることができた。プレゼンの発表時間は厳密であり、レベルの高い高校生の発表の後すぐの発表であったため、かなりのプレッシャーを感じていたが、練習の成果があり、納得のいくプレゼンテーションを行えた。海外の学生はスピーチ力の高い学生が多かったが、自分も見習って、スライドを読むのではなく、みんなに自分の意見を訴えるように話すことができた。

### 留学費用

保険料+4000円

食費、航空費、滞在費用はすべてイオンが負担してくれる。必要なのはお小遣いのみ。

### 留学先での住居

ホテルに滞在。4つ星の豪華なホテルだった。日本人と二人部屋だった。

### 留学先での語学状況

留学経験豊富な方が多く、英語は流暢だった。

### 単位認定

単位認定はない

### **留学経験を今後、どのように活かしたいか**

もっと世界に貢献できるようなことをやりたいと思った。今まで、リーダーという地位を恐れ控えることが多かったが、積極的にリーダーを務めたいと思った。ディスカッションでどのように振る舞えばうまくまとまるのかが少しわかったので、今後のディスカッションで生かしたいと思った。英語、日本語問わず、スピーチ力をつけたいと思った。

### **留学を希望する後輩へアドバイス**

世界で活躍したいと思っている方、お金はないけど留学したい方、他の大学の方とも交流したい方にお勧めです。英語力に自信が無くても大丈夫です。